

さくらプロジェクトについて（伊那市立東部中より）

2011. 3. 11 東日本大震災で高砂中学校を襲った津波の影響で、南門に毎年見事な花を咲かせるさくらが、2012年は咲きませんでした。

2011年、津波のすぐ後の4月。美しい花を咲かせ、私たちの元気を与えてくれたさくらです。本当に残念な出来事です。



2011年4月 高中（塩害にあった桜）

そんな折、長野県伊那市立東部中学校の皆さんから、「さくら」の苗を贈りたいとの申し入れがありました。東部中学校の先生方が、夏休みに本校を来校した際、本校のさくらの話を聞き、「高砂中学校の復興のシンボルになって欲しい」と動いてくれたのです。

本校に植樹してくださる予定のさくらは、「タカトオコヒガンザクラ」という種類です。このさくらは、伊那市にある高遠城址公園一帯に咲くさくらです。固有種で、その花はやや小ぶりで赤みを帯びているのが特徴です。また、長野県の天然記念物にも指定されています。



高遠城址公園に咲く

タカトオコヒガンザクラ

これらのさくらは、～桜守～という方々によって、手塩にかけて育てられており、勝手に市外に持ち出して植えることは出来ないことになっています。

さらに東部中学校では、ガンダム募金と称して、桜と共に高砂中へ届けたいという気持ちで、募金活動をしています。

そこには、こんな呼びかけがあります。

「被災地の中学生はやりたいことが出来ずに我慢しなければならないことがたくさんあります。そこで、私たちも日々の生活の中で少し我慢して、夏の節電も兼ねてそれを募金という形に変え、被災地へ届けたいと思います。みんなに我慢して募金するお金です。被災地への思いがなければ出来ません。だからこそ、東部中学校の生徒の思いも一緒に届けられると思います。

ガマンのガとシ、ムダ使いのムダでガンダム募金と名付けました。」

例

欲しくても、何とかならないかとガマンして・・・100円
紙のムダ遣いを減らして・・・10円
水のムダ遣いを減らして・・・50円
電気をこまめに消して・・・100円 など

※ こうした、東部中生の思いがたくさん詰まった「さくら」受けとる高砂中学校の生徒として、どのような思いで、東部中学校の皆さんに応えていくかを考えて欲しいと思います。